

すくも自主防災会だより 第30号

私たちの住む西町区は、誕生以来40有余年を迎えるという新興住宅地域で、戸数400、総数1100名強の人々が暮らす地域とし現在に至っています。昨年10月達ての願いであった西地区防災コミュニティセンターが創建されるに至り、地区民一同拝謝の意を抱くと同時に、西地区の災害拠点として、その有効活用に対する責任と課題を改めて深く認識することとなりました。災害時にセンターの運営を円滑に行うため「西町区が責任を持ち西町区民の力で運営する強い意識を持つ！」を基本に置き、15名から成るマニュアル策定検討部会を立ち上げ平成31年4月から行政と計6回にわたる準備・打合せと内容改善を重ね、12月に、センターを活用し、マニュアルを基準とした初の具体的受け入れ訓練の実施へと展開しました。一方、宿毛市を通じ高知県より避難行動要支援者対策を進める上でのモデル地区の指定を受け、13名から成る活動推進委員を任命し5月から県・市の担当者と計4回にわたる打合せを行いながら個別計画作成・支援者への個人情報公開・避難時の個々の内容・避難訓練への参加に至るまで要支援者の家庭訪問を活動委員と複数回繰り返し理解を求めなどの活動を行い、12月に2度にわたりセンターへの具体的避難訓練の実施へと結びつけることができました。いずれも【自らの命は自らが守る】の基本理念のもと、行政の支援を頂く中で【よちよち歩き】ながらも出発ができたことと評価をします。



▲西地区防災コミュニティセンター

西町区は共同体としてはまだ若く、様々な文化伝統を持つ集団であることを地区民が理解の上で、この地区に適合した素晴らしい文化伝統が育っていくように、活動を主導しなければならないものと考え、今回の取り組みを開始しました。まず、センターの運営に関しては、その役割を理解し、最善最大の有効活用に繋げられるように地区民の方々の英知を結集しなければならないと考えました。西町区に与えられた役割とは、大規模災害時に、とりわけ初期の運営を西町区民の力で運営するという強い意識を持つ事であり、そのための訓練を、今後も繰り返し行う運営マニュアルの問題点を改善していく事に尽きるのではと思っています。但し、災害時にどう動くかの100点満点のマニュアルは出来ないと考えており、受け入れ時の基本的行動指針としてマニュアルを参考とし行動でき、その結果、必要最低限の運営の骨格となるようレベルアップを図っていかねばならないと考えています。

昨年末の避難訓練後、災害時における西町区の3つの合言葉！と称して地区民の方に「当たり前の事」として今一度心に刻み込むために敢えて回覧をさせて頂いたものです。

●【自分たちの力で家から外まで何とか出る】

家の中の耐震補強・最も安全な避難場所決め・外に出る事前準備と訓練実施

●【向こう三軒両隣の声掛けの徹底】避難する時の全員の心がけとする

●【避難中弱者の人に出会ったら可能な限りの手助けを】余裕があればを基本に…
日頃の会話の中で「そんなときゃ頼むぜ」「何とか助けてくれんかえ」「そうやね、なんとかせにゃあいかんねや」と頼られるそういう人間関係を築いてゆきたいものである。

今後の避難訓練においても合言葉を念頭に、より具体的な訓練の繰り返しが必要であり、そこから得られる自助・共助の考えから生まれる適正な行動力を育成したいと考えます。また、避難行動要支援者制度の取り組みについては、建て前ではなく本質を追求していかねばならないと決意し、行政と共に一步一步手探り状態で推進して参りました。思いが通じる事なく心が折れそうになる事、取り組みの内容に理解を得て喜びを感じた事など様々ありました。また、手助けを求める事がしばしば弱さや無知の表れのように思い、自力で避難が



▲避難訓練打合せの様子

出来ない事が罪のような思いがあるのではないかと、他者に借りを作ることや恩を受ける事への不安があるのではないかと、他者への協力は求めないし求めたがらない感情があるのでないかと思ったりしました。その中で訓練への参加と協力をお話するために訪問を繰り返し、素直に思いを告げ、その過程で築き上げられる信頼関係の構築がより重要な観点であると振り返ったことでした。また、何が相手の為になるのかを熟慮し、信念を持って行動する事の重要性と助けを求める事が奨励されるような地域風土の醸成の必要性を認識するものでした。



▲避難訓練の様子

以上、二つの課題に地区をあげて取り組みをして参りましたが、「地域としてどう向き合えるか」「地域に対して何を求められるのか」「その先にどう地域の融和を生み出すことができるのか」考慮を続け共に価値を求め、互いに存在感を認め、同じ地域に暮らすことの意義を共有することから共助の関係をより深く築き上げることが今後の課題となります。今後も地域としてこうありたいと想う姿！あるべき姿！を地域活動の先に見たいものとして掲げ【より住みよいまちづくり】に対し取り組みを進めていきます。

西町区防災対策委員会 会長 中脇 南海男

問 危機管理課 ☎ 63-0951